

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める「知」の拡張の実現

3. 研究開発課題名

遠隔操作型対話ロボットによる知の質と量の向上

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

石黒 浩(大阪大学 先導的学際研究機構 共生知能システム研究センター センター長・教授(基礎工学研究科))

5. 評価結果

本研究開発課題は、労働人口の減少が懸念される日本において、「対話 AI ロボット」の実現により、高齢者等の潜在的なマンパワーが新たな社会的ソリューションになることに加え、人間とロボットの関係における認知特性の解明という今までにない概念を切り開いた。

探索研究においては、他のコミュニケーションメディアに比べ、ロボットを介することが優位となるケースを認知科学的に見出し、「働く」「学ぶ」などの場においてロボットによる一定レベルの能力の統合や知識の共有が確認され、人の労働寿命の延伸と生産性の向上を実現する可能性が見出された。また、提案の「対話 AI ロボット」を新しい社会ソリューションの一つとして提供できる可能性を検討するなどチャレンジングな取り組みが行われた。

今後、社会実装に向けて受益者のメリットや事業者のインセンティブなども考慮しながら対話 AI ロボットが最適な対象に向けて展開していくことが期待される。

以上